

キャリア初期看護師の 職業的アイデンティティの形成プロセス

——看護実践の経験の意味づけから——

関西医療大学
保健看護学部教授

中納 美智保 著

【著者略歴】

中納 美智保 (なかの みちほ)

- 1992年 和歌山労災病院 看護師
- 1995年 横浜労災病院 看護師
- 1998年 東京都立医療技術短期大学部看護教員養成講座修了
- 2001年 和歌山県立医科大学看護短期大学部基礎看護学 助手
- 2004年 和歌山県立医科大学保健看護学部基礎看護学 助手
- 2005年 大阪府立看護大学大学院看護学研究科博士前期課程修了 修士 (看護学)
- 2007年 和歌山県立医科大学保健看護学部基礎看護学 講師
- 2009年 関西医療大学保健看護学部保健看護学科基礎看護学准教授
- 2016年 大阪府立大学大学院看護学研究科博士後期課程修了 博士 (看護学)
- 2016年 関西医療大学保健看護学部保健看護学科基礎看護学教授

キャリア初期看護師の看護実践の経験の意味づけは、職業的アイデンティティの形成にどのようにつながるのか。グラウンデッド・セオリー・アプローチを用いて実践理論を構築し、その要因を解明。教育的支援内容を検討する際の基盤を提供。

……キャリア初期看護師の職業的アイデンティティの形成プロセスを明らかにすることは、患者への関わり方や看護ケアの質に影響を及ぼすだけでなく、キャリア初期看護師の離職を防止し、看護専門職としての発達を考えるうえでも重要である。キャリア初期看護師が、看護実践の中で患者や家族に関わった経験を振り返り、意味を引き出すことによって、看護の価値や看護の意味が実感でき、職業的アイデンティティの形成につながるのではないかと考える。

(本書4頁『第1章 研究の意義・目的』より)

目次概要

- 第1章 研究の意義・目的
- 第2章 文献検討
- 第3章 予備研究
- 第4章 研究方法
- 第5章 倫理的配慮
- 第6章 結果
- 第7章 考察
- 第8章 結論

A5判・178頁 定価(本体 6,000円+税)

ISBN 978-4-7599-2198-4

2018年1月刊 好評発売中

平成29年度科学研究費助成事業
(研究成果公開促進費)の交付を受けて刊行。
大阪府立大学大学院看護学研究科博士論文

風間書房

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
電話 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757 振替 00110-5-1853
http://www.kazamashobo.co.jp E-mail pub@kazamashobo.co.jp

(注文書)

キャリア初期看護師の職業的アイデンティティの形成プロセス 中納美智保著 本体 6,000円+税 風間書房刊

書店名 (番線)

お名前・お届け先住所・電話番号